

守口市立図書館指定管理者制度 総合評価(施設所管課による評価)

【評価対象施設】 守口市立図書館

【指定管理者名】 図書館流通センター・大阪ガスビジネスクリエイト・長谷工コミュニティ共同事業体

【評価対象年度】 令和2年度

【施設所管課名】 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課

施設のサービス水準の視点 コメント

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館が2か月間延期されたが、開館後は施設の利用制限などの感染対策を実施しながらも、数多くの方に来館いただいた。アンケート集計においても利用者満足度が高くなっており、評価できる。

生涯学習施設については、開館時間の短縮や利用制限を設けながらの運営となったことから、利用率は低調となっているが、その分自主事業や施設の改装を実施するなどの工夫が見受けられる点は評価できる。

今後も利用者ニーズに沿った事業の展開や、守口文化センター、市内コミュニティセンター及び学校図書館との連携を強化することで図書サービスの向上を図るなど、さらなる利用者増につながるサービスの提供に努められたい。

収支状況 コメント

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館等の影響で、利用料金収入が予算額を大幅に下回っており、感染症対策に係る消耗品費等も予算超過したが、その他の支出面の抑制によって黒字決算となっている。

今後もコロナ禍での運営となり、利用料金収入は不安定になることが想定されるが、引き続き支出面での抑制に取組み、利用者のニーズに沿った事業を効率的に実施し、施設の適切な管理運営に努められたい。

市（施設所管課）による総合評価

開館初年度で、感染症対策を実施しながらの運営となったが、図書館の魅力発信につながる事業の実施やアンケート集計による利用者満足度も高くなっており、評価できる。

施設利用率、利用料金収入については、今後も新型コロナウイルスの影響で不安定になることが想定されるが、引き続き図書館の特性を活かした事業展開等、感染対策を講じた上で稼働率の上昇に繋がる取組みを実施されたい。

自主事業については、Web配信や在宅で参加できる事業などコロナ禍における事業のあり方を検討し、利用者ニーズに沿った事業を実施されたい。

総合評価

B

総合評価区分

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった